

(様式⑦-1 小学校・中学校)

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像 (豊かな心)人と人との交わり、つながりの中で、「人間性豊かな心」「たくましく生きる力」を持つ子
--

堺市立庭代台小学校
校長 安藤 寿美子

令和7年度 重点目標 ・「子どもの笑顔を大切に」「人が育つ』『人と育つ』学びの場の充実」 ― みんなそれぞれ でもひとつ ― ・子どもたち、保護者、地域との信頼関係を大切にする ― 教育は、「深い子ども理解」「保護者理解」「地域理解」から ―

確かな学びの現状 堺市児童生徒学習・生活状況調査(令和6年9月実施)において「自分で計画をたてて勉強しているか」という質問項目に対する肯定的回答率が、IRT(4月実施)よりも30ポイント以上高まった。また、この回答率は堺市平均よりも9ポイント上回っている。自ら計画を立てて学びに向かう姿勢が育ちつつあることが分かる。一方で、「学習をふりかえり、自らの成長を実感している」「学習したことが普段の生活に活用できないか考える」「既習事項を学びに生かしている」という項目では、課題が見られる。こどもが主体的に学びに向かい、学びを進める授業づくりに学年やメンターチームで取り組み、教職員の指導力の向上をめざす。	豊かな心・健やかな体の現状 ・新体力テストより、高学年男子のみ高い数値でその他については低い数値だった。 ・運動力向上の根幹は日々の授業づくりと捉え、手引書を基にした体育の授業づくりに取り組む。運動量の確保と多様な動きの習得ができる体育の授業を行う。 ・運動を通じて、筋肉の維持・向上に取り組む。 ・授業で仲間と共に学び、学級活動で係活動やみんなで遊ぶことから人を大切にする心を養う。 ・縦割り活動での異学年交流に取り組んでいく。
---	--

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期			進捗確認 (～10月)	達成状況(年度末)			
										自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	基礎基本の定着	◎学びに向かう力の育成【研修】【図書】	●自ら計画を立てて、学習に取り組む力の育成 ・家庭学習、自主学習を推進する。 ・各教科と生活科、総合的な学習の時間、行事等の関連を意識した授業づくりを行う。 ●読書教育の推進 ・司書教諭、学校司書、図書ボランティアが連携して学校図書館を核として読書環境づくりを進める。(図書だよりの発行、学級貸出・団体貸出の利用促進、学級文庫・魅力的な蔵書を増やす) ・図書委員会と図書ボランティアの共同イベントなど、協働した取り組みを作り出し、読書を通じて交流を楽しむ環境づくりを行う。	・個々の児童の学習状況の指導と評価の共有。	・児童が作成した学習計画の進捗状況の共有	・学期毎							
	授業改善	◎自立した学習者の育成	●子どもの実態に応じた授業づくり ・つながりシートによる学習計画を作成し、指導と評価の一体化を行う。 ・学びに向かい、学びがつながるICT活用を行う。 ●校内研修の充実 ・学びに向かう姿を明確化する。 ・教員自身の学びのふりかえりを共有する。 ・全教員による研究、公開授業を実施する。 ・メンターチーム制により学びあう。	・各学年の児童の実態に即した指導と評価の共有 ・学校教育アンケート →肯定的回答8割以上	・つながりシートの項目 ・学校教育アンケート	・毎月 ・年2回							
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	◎仲間を認め、自分を大切にできる子どもを育て、みんなが安心を感じられる集団作り【人権・生指】	●仲間と自分を大切にし、誰もが居場所がある集団作り ・各学級の実態に応じ、係活動などの自治的な活動を取り入れる。 ・休み時間にみんな遊びを行ったり、特別活動の時間に話し合い活動を行ったりするなど、学級でつながる時間を確保する。 ●ジェンダー平等に関する理解の推進 ・全学級で性差に関する授業を実施する。 ・教員が高い意識を持つとともに、全ての教育活動を通じて児童に伝える。 ●たてわり活動の充実 ・異学年の児童が集まり、交流を深める。 ・各学年の集団の中での役割を考え、行動する。	・学校教育アンケート →肯定的回答8割以上	・学校教育アンケート ・こころアンケート	・年2回 ・毎学期							
		◎考えて行動できる子どもの育成をめざす生徒指導【生指】	●あいさつ・廊下歩行・靴ならべ・清掃 ・児童活動との連携で、毎学期それぞれに焦点をあてた啓発を行う。 ●いじめ防止の取り組み ・全学級での啓発授業を行う。 ・夕礼の中で全体に対し講話を行う。 ・こころアンケートの実施、iシステムの活用等を通して、早期発見、早期対応、未然防止に努める。	・学校教育アンケート →肯定回答8割以上	・学校教育アンケート ・こころアンケート	・年2回 ・毎月							
		◎特別支援教育の充実【特支】	●特別支援教育の充実 ・配慮を要する児童への指導体制(通級指導教室の活用)を広げ、学びの場の見直しを進める。 ・専門機関との連携を行う。 ・通級指導教室の取り組みを教員で共有する。 ●障害理解教育の推進 ・人権教育計画に基づいた障害者理解教育を実施する。 ・支援学級と通常学級の交流授業や啓発授業の時間を設ける。	・学校教育アンケート →肯定的回答8割以上	・学校教育アンケート ・児童の実態	・年2回 ・実施後							
	運動力向上	◎運動を通して、体全体を動かし、体力向上をめざす ◎多様な運動を身につける【体育】	●体育授業の充実 ・児童の実態に応じた授業設定 ・ラダートレーニングの導入 ・学習記録・ふり回りカード等の共有 ●業間体育の活性化 ・休み時間を活用して外遊びを推進する。 ・授業で得た運動や体育カードを活用する。	学校教育アンケート →肯定的回答8割以上	学校教育アンケート	年2回							
		◎食に関する知識の習得と、生活習慣の確立【給食指導】	●栄養教諭と連携し、学校給食を活用した食に関する指導を実施する。	学校教育アンケート →肯定的回答8割以上	学校教育アンケート	年2回							
		◎9年間の成長を共有するとともに、子どもの事実をもとにした学びを共有【小中一貫】	●「めざす子ども像」やそれに向けた取り組みを学校群で共有し、進める。 ・各校のこどもの姿や取り組みの共有。めざす子どもの姿の明確化。 ・子どもの事実をもとにした学びあいの場を設け、意見交換する。	小中で共有した「めざすこども像」とそれに向けた取り組みのについての意識調査。	教員に向けた意識調査	年度末							
	つながる教育・ひろがる教育	◎安心、安全に繋がる地域との連携【幼小連携】【教務】	●幼小連携 ・ワクワク広場などを実施する。 ・相互連携による情報共有や授業参観を実施。 ★登下校時の見守り活動	・実施後の意識調査	児童の実態	年度末							
校長より(年度末)										学校関係者評価者から(年度末)			